



平成 21 年 4 月 23 日

文学部プロジェクトの成果報告について

文学部では、学部内でユニークな共同プロジェクト研究を強力に推進しています。本発表では、20 年度に刊行されたこれらのプロジェクト研究の成果報告書 3 冊を紹介します。

・本日は、次の 3 冊の刊行物の紹介と関連する成果報告をします。

1. 『揺らぎの中の日本文化 一原像・怪異・日本美術一』岡山大学出版会（21 年 3 月）
2. 『社会調査報告書 ー白石島ー』（『文学部プロジェクト研究成果報告書』12）（21 年 3 月）
3. 『未盗掘古墳の発掘調査』（『文学部プロジェクト研究成果報告書』7）（20 年 7 月）

文学部では、この 10 年近く学部内のユニークな共同研究を選定し、文学部プロジェクトとして研究を推進してきましたが、上記 3 冊は、そのうちの 3 グループの研究成果です。

1 『揺らぎの中の日本文化 一原像・怪異・日本美術一』

- ・「日本文化の固有性の探求」グループが学外の研究者とともに行った 3 つのシンポジウム(19 年 10 月)の報告書。
- ・従来の「わび」「さび」などといった一面的に規定されがちな日本文化のイメージにとらわれず、「揺らぎ」の相を捉えることで日本文化の個性を捉えようとする試み。
- ・「米作国家のはじまり」「イエイツと能」「伝統中国から見た日本美術」など考古学、日本史、日本文学、中国文学、哲学、美学、美術史など多様な領域の専門家たちによる論集。

2 『社会調査報告書 ー白石島ー』

- ・「瀬戸内海における生活と文化」教育と研究グループ（社会学，文化人類学，地理学；学生も含む）による共同研究の報告書
- ・白石島のなりわい，生業の変遷，年中行事，高齢者，医療・福祉，自治，観光など多面的に調査
- ・例：高齢化が進む中での医療・福祉での取組や問題点を報告
（診療船，診療所，福祉デイサービス船，健康講座，元旗くん等）

3. 『未盗掘古墳の発掘調査』（『文学部プロジェクト研究成果報告書』7）（20 年 7 月）

- ・考古学を中心とした「未盗掘古墳の発掘調査」グループの研究報告書

この内容およびその後の成果については、項目を改めて担当者（松木武彦准教授）より発表します。